

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	JIN KIDS		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日		～ 2026年 1月 23日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	2026年 2月 17日		～ 2026年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 18日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・保護者との連携や情報共有を大切に、寄り添った支援の提供	・保護者の意向に沿った医療的ケアや支援の実施 ・体調や活動の様子など送迎時や連絡帳で共有することで、保護者に安心して貰えるようにしている ・保護者からの依頼や相談事には、可能な限り応え一緒に考えるようにしている	・保護者とスタッフが交流出来るような機会の検討 ・保護者からのフェイスシートを全スタッフが確認をし、アセスメントをしっかりと行う ・保護者が困り事など、発信しやすい雰囲気作りを心がける
2	・個々の子どもに対応し、個別支援の充実	・年齢や個々の特性を理解し参加方法の工夫をしたり、興味のある事や伸ばしたい事を意識した活動の提供 ・個々が活動に参加しやすい姿勢の検討や、参加しやすい道具の検討などリハスタッフに意見を貰いながら随時行っている	・日々の振り返りの中でその時の様子だけではなく、個々の成長している部分に着目し、次の支援へと繋げていく ・お子さんの将来を見据えた支援内容の充実 ・より専門性の高い支援が出来るよう、個々のケースカンファや勉強会の実施
3	・他職種間の情報共有と連携を行い、チーム支援の実施	・毎日全体でのミーティングの中で個々の振り返りを行い、困り事などの共有をしチームで問題解決を行っている ・保護者や学校からの情報は、すぐに情報共有を行う ・活動の内容や取り組みの仕方について、全スタッフでミーティングを行い検討している	・振り返りを行う事で終わっているところがあるので、そこからの課題を見つけていく ・各職種のスキルアップのための研修の実施 ・療育の専門性を持ったスタッフの充実

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者向け安全計画、避難訓練、防災対策などのマニュアルなどの策定と、保護者への周知が出来ていない	・保護者向けのマニュアルの策定が出来ていないので、早急に策定する必要がある ・利用児全員が避難訓練には参加出来ていない ・実施している避難訓練の様子等、保護者への周知が出来ていない ・安全対策や防災対策について、担当者任せになっており全スタッフで話し合う機会がない	・保護者向けマニュアルを策定し、保護者に周知していく ・避難訓練実施について、訓練の様子を写真やSNSなどで発信して伝えて行く ・訓練を行った後に、反省点や問題点など話し合う機会を作る
2	・保護者同士やきょうだい間の交流の機会がない	・利用児の特性から今まで保護者ニーズも少なかったため、交流をしないようになってきたが、ニーズも増えてきたので交流出来るようにしていきたいと考えている ・交流を行う時間帯や場所の設定が難しい	・授業参観のように活動の様子を保護者に見に来て貰う機会を作る ・保護者やきょうだい児が参加出来るようなイベントの計画を検討していく ・茶話会など保護者同士が気軽に話が出来るといった機会の設定の検討をしていく
3	・療育スペースに小窓がないので、感染時など感染拡大の不安がある ・呼吸器が繋がっていたり、トイレまでの移動が難しい児も多く療育スペースでの排泄介助をせざるを得ない	・小窓を開けて定期的な換気や、サーキュレーターを使用して空気の循環を行っている ・排泄介助時はパーテーションで仕切るなどして、個々の自尊心を大切にしながら行うようにしています	・感染症流行時の対策や室内環境について、スタッフ間で検討し現状の対応でよいのか、さらに工夫が必要なのか考えていく ・療育スペースでの排泄介助では、どうしても排泄臭が漂ってしまうのでどのような対応が必要か検討していく。またパーテーションだけでは限界もあるので、個別配慮についても検討していく